



執筆

技術同人誌を書こう

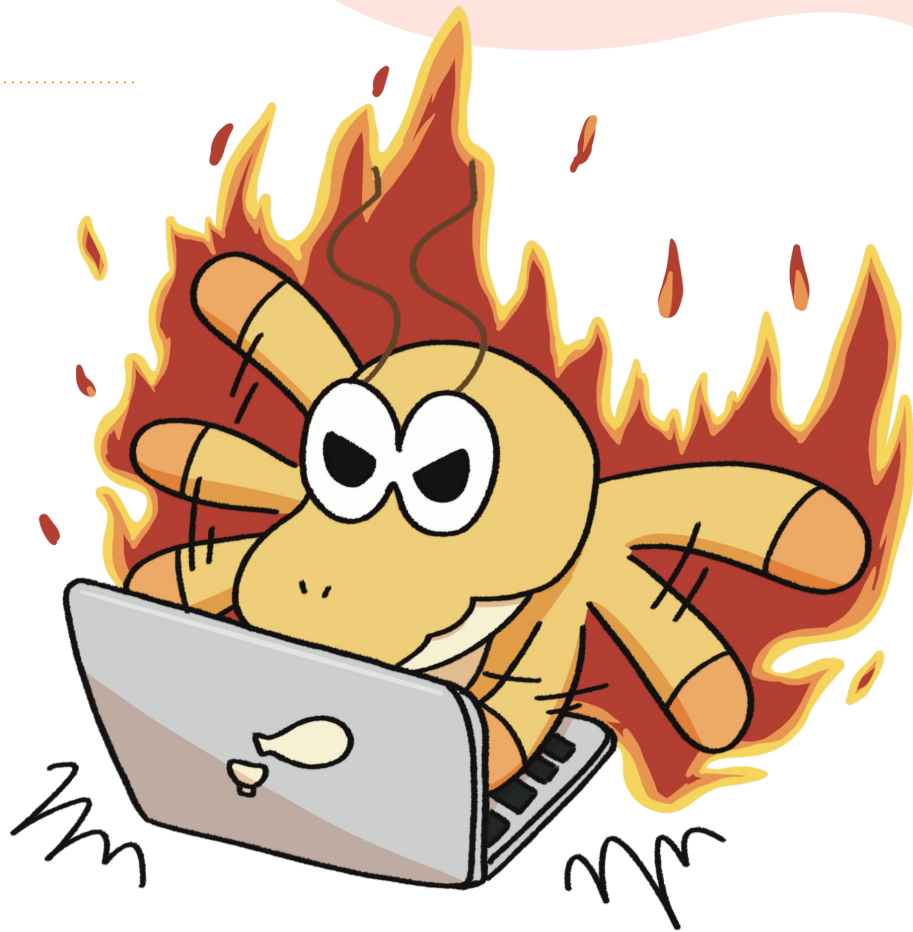
OSC2026 Online / Fall

@gishohaku

About me

ariaki  @ariaki4dev

技術書同人誌博覧会 / 代表
株式会社MyAnimeList



About me

fumiya  @fumiyaasac

技術書同人誌博覧会 / デザイン協力
サークル「just1factory」



おねがい

感想をツイートする際には **#osc26on #技書博** をつけて
いただけるとうれしいです！

お寄せいただいた声は技書博のプロモーションに
使用する場合がありますのでご承知ください。
ぜひ最後まできいて、**技書博に申し込んでね！**



技術書同人誌博覧会

技術書（技術同人誌）オンリーの同人誌即売会イベント



技術書同人誌博覧会とは

- 略称は「技書博（ぎしょはく）」※これまで14回開催（約半年に1回）
- 2019年から開催している技術同人誌オンリーイベント
- **技術ならなんでもOK**（IT/理工/数学/デザイン/マネジメント/etc..）
- 初心者にもベテランにも優しく、ゆったり交流しながら知識を深める
- エンジニアの**アウトプットを応援したい&増やしたい**

より詳しい記事はこちら

<https://blog.gishohaku.dev/entry/2023/09/04/131252>

頒布できるもの

- 技術書
 - 技術同人誌・商業誌ともにOK
- 技術コンテンツ
 - 技術書のDLコード、動画/音声コンテンツ、ソフトウェア
 - ハードウェア、メディア、知育ゲーム、など
- その他グッズ
 - アクキー、缶バッジ、ステッカー、など

補足

- 頒布価格の下限および上限はなし
- 同人誌/商業誌、新刊/既刊ともにOK
- 頒布物は**全年齢向けに限定**
 - NG→過度なアダルト・暴力表現・グロテスク表現など
- **技術書以外のみが目的の出展はNG**
 - 私たちのイベントは**“技術”を伝えること**が目的
 - 技術本またはコンテンツを必ず1つ以上頒布
 - ただしコミュニティ/協賛サークルは除外

技術ってなに？

「あなたが**解説可能なものはすべて技術**」です

- ITや理工以外の技術書もOK
 - 例) マネジメント、デザイン、生存戦略、組織論
 - 例) 編み物の技術、カレーをおいしく作る技術、飲み歩きの技術
- 技書博スタッフは原則、技術書の要件を満たしているか**判断しません**
 - ただし、**行動規範に照らしあわせ妥当か個別に確認**します

直近の技書博について

技書博#14が大田区産業プラザPiOにて2026年9月13日に開催されました。



参加者属性レポート（技書博13）：

<https://blog.gishohaku.dev/entry/2026/05/27/002212>

#15

技術書同人誌博覧会



2027.05.15 Sat

大田区産業プラザPiO 大展示ホール

大事なポイント

“技術同人誌” はエンジニア等が自分の推したい技術
や知識を **“本”** という形で共有するもの

技書博は**“アウトプットを応援する”** ために作られた
イベントで **“本を書き始める or 書き続ける人”** を応
援するために作られているということ

「技術書を書いて欲しい」という思いから、この様な企画を考えました！

技書博は執筆がはじめての方を応援しています！

“技術書ってどんなもの？”って気になった方は、是非ブースに来てみて下さい。たくさん展示をしています。

“技術書を書いてみたくなった”方は、是非ブースに来てみて下さい。説明はいくらでもします。

技書博は技術書を書く方がたくさんいて、コミュニティに迎えてくれます。**“みんなで書こう！”**

私達エンジニアは

アウトプットで成り立っている

アウトプットで成り立つ世界

- 私たちエンジニアは **先人のアウトプット** で成り立っている
 - 先人のアウトプットを元に私たちは **学んでいる**
⇒ **書籍、ブログ、発表、動画番組**、など
 - エンジニアが日常的に **利用するもの** はすべて先人のアウトプット
⇒ **OS、ミドルウェア、言語、フレームワーク**、など
- つまり、アウトプット（＝先人の知恵）がなければ世界は成り立たない
 - アウトプットで誰かが **少しだけ豊かになる** 行為を積み重ねていく

アウトプットが増えた世界線

- コンテンツに対してより **安価かつ簡単にアクセス** できる
- 学ぶうえで発生する **困難を乗り越えやすく** なる
- 他者のアウトプットを享受することで **生産性が向上する**
- アウトプットが増えたら相対的に **社会が豊か** になる
- 情報量の増加に伴うデメリットもある
 - 情報整理、取捨選択、検索の困難、など

アウトプットが減った世界線

- コンテンツが **高価になり、学ぶ方法や機会が少なくなる**
- 悩んだときに解決しづらい（解決できない）可能性がある
- たとえばミドルウェアがないと開発すべき範囲が増える
- エンジニアの門戸が狭くなると **エンジニア人口が減少する**
 - カンファレンスや勉強会が開催されないかも？
 - 発行部数が減ったら本が高価になったり出版されなくなるかも？
 - 学習難易度があがったらエンジニアを**志す人が減る**かも？

アウトプットを続ける重要性

- **自身が学びやすい世の中** を作り出す
 - アウトプットそのものを増やす
 - アウトプットによって **コミュニティを増やす**
- アウトプットを増やすことで **未来にバトンをつなぐ**
 - 知見を共有して良いプロダクトを増やす
 - 後進を育てて **エンジニア人口を増やす**

アウトプットとコミュニティ

- コミュニティは **アウトプットの機会として最高のマイルストーン**
 - **機会** がなければ行動しない人が圧倒的に多い
 - **きっかけ** がなければ生まれないものが圧倒的に多い
- コミュニティはアウトプットがないと継続できない
 - 登壇者がいない勉強会...サークルがない即売会...
- コミュニティによって「**新しいヒーロー**」を生み出し続ける
 - 十年～数十年単位で考えると、今のヒーローは引退していく
 - 次世代のヒーローを登場させ、現役世代を引退させてあげる

どちらも“相互に影響し合う”もの
それが良い社会への“Groove（高揚感）”に繋がる

コミュニティ

知る機会・きっかけ
表現の場所



アウトプット

学ぶ機会・言語化
知見の共有

アウトプットしよう

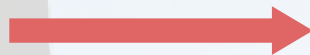
- **自身を成長させる**
 - 知識を“教える”ためには深い習熟が必要になる
 - 説明力・説得力・構成力などさまざまな技能が向上する
- **自身を表現する**
 - 脳内に蓄積した知識を解釈&変換して、自分なりに表現する
 - 自分の知識や経験を外から観察してもらえる
- **社会を持続させる**
 - 社会の豊かさの根源は学び、知の共有は必要不可欠である
 - 誰でも容易に知にアクセスできる状態を作ろう

アウトプットを始めるために

- **たとえばこんなこと思っていますか？**
 - 自分の発信に需要はない / 発信できないことがない / 発信するのは怖い
- **テーマを絞ってみるといかがでしょう？**
 - あなたがもっとも得意とする技術は？
 - 過去のあなたと同じ課題を抱えた人はいない？
 - 今のあなたがもっとも情熱をかけている技術は？
 - あなたは最近同僚に何を教えた/教えられた？
 - 自慢できる過去の体験はない？

あなたが“持っている引き出し”にヒントがある
それが誰かにとっての“宝物”かもしれない

大きなカテゴリ



特定のテーマ



範囲を絞ってみる。
経験に目を向ける。



自分が書いていいの？

- **同じテーマでも視点は人それぞれ**

- あなたより少し後ろを歩いている誰かに届く可能性がある
- どんな順番で学んだ？何につまずいた？どう理解したか？
- 知識そのものが既知でも、その人が歩いた道順は同じではない

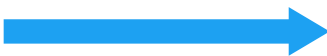
- **自身を表現しよう**

- 脳内に蓄積した知識を解釈&変換して、自分なりに表現する
- 自分の知識や経験を外から観察してもらえる

- 学んでいる途中だからこそ、**調べ直し、整理し、理解を深められる**

- 自分が学んできた道のりを、次に学ぶ誰かへ渡そう

はじめは小さな1歩からのスタート

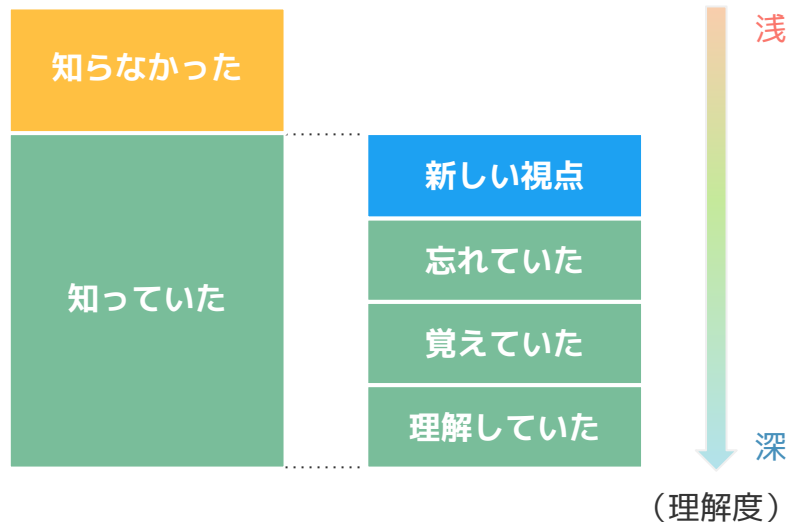
- あなたのアウトプットは、「**必ず誰かの役に立つ**」と考えよう
 - 自分の不便や悩みを誰かの便利にする
 - 自分の後続く人にバトンを渡す
 - 学びによる変換を伝える 
 - 学びの経緯や道のりを伝える
- **少ない量** のアウトプットを続けてみよう
 - インプットした内容を日報等を活用してまとめてみる
 - 日々の調べた事や知識を「自分の言葉」で言い換えてみる
 - 学ぶ事ができた知識を図解という形でまとめてみる

やりたくない	→	やりたい
できない	→	できる
うまくいかない	→	うまくいく

アウトプットによる学び

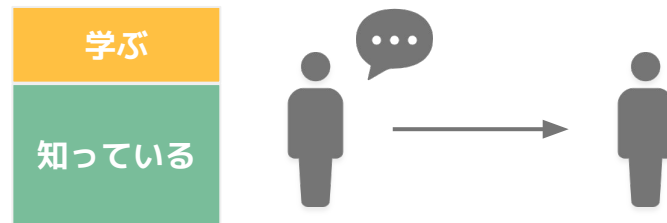
- **アウトプットの過程でのインプットからの学び**
 - 「知っている」と思っている、**完全に理解していることは意外と少ない**。だからこそ、準備の中にはたくさんの学びがある。
- **アウトプットは 良質なインプットのチャンス**
 - 再調査しよう、深掘りしよう、知識を補完しよう
 - 考察しよう、整理しよう、法則を見つけよう
- **アウトプットによって、重要な要素をより明確に意識することができる**
 - 情報が不足していないか？ / 理解できている？ / その情報は正確か？ / その情報は自身に定着しているか？ / その情報は説明できるか？

アウトプットからつながる行動

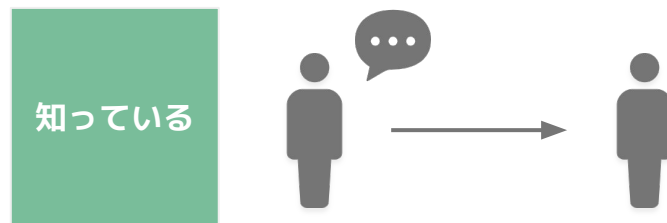


知らなかった事を調べる過程で
新しい視点を発見する

学習で補いながら伝える



知っていることを伝える



アウトプットがもたらす“幸せのサイクル”

事前準備

- スキルや思考の**整理**と**再認識**
- 学すべき**方向性**を定義
- 学びの**動機付け**と**意識向上**
- 学ぶ**機会**の増加

アウトプット

- **説明力**の向上
- **会話力**の向上
- **文章力**の向上
- 記憶の**再整理**

インプット

- 学びの**質**が向上
- 学びの**量**が向上
- 学びの**進捗**が明確化
- **ゴール**が明確化

フィードバック

- 周囲からの**認知**と**評価**
- **モチベーション**の向上
- **感想**や**指摘**など
- **次のインプット**を目指す



あなたのアウトプットが
“あなたの周りの幸せに繋がる”

エンジニアの活動は常に誰かの
アウトプットによって成立している

アウトプットをしよう！

技術書を書いてみませんか？

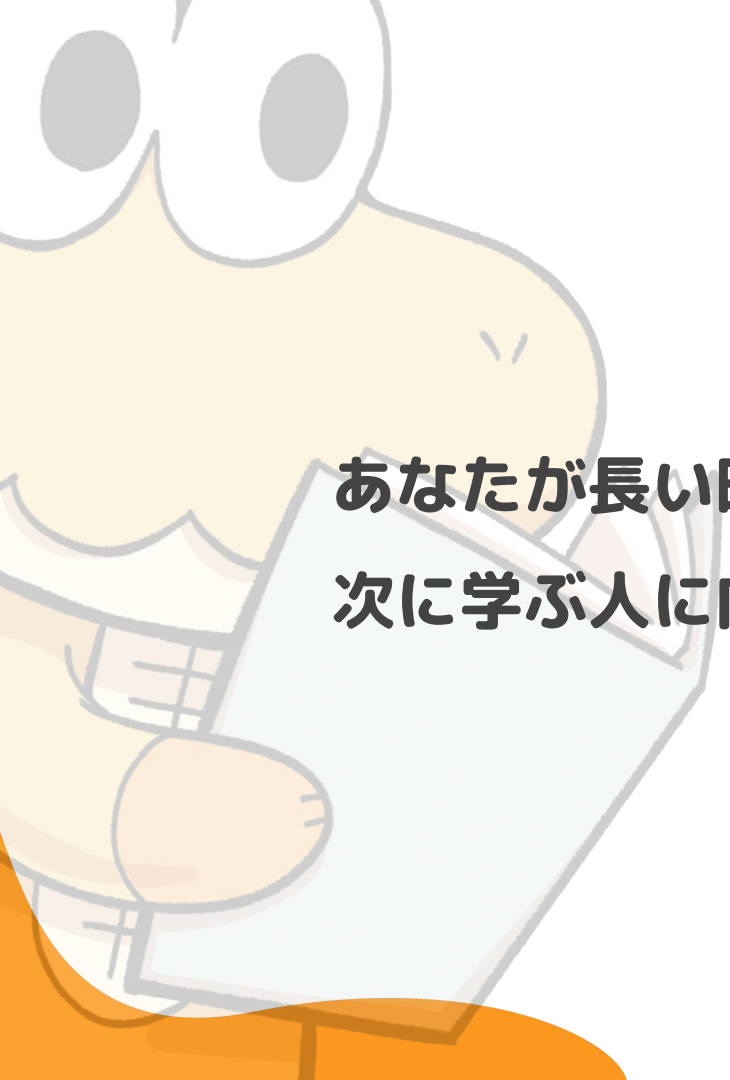
あなたがもし “まだ” エンジニアではなく
“はじめて” プログラムを学習するとしたら
どのような手段で学びますか？



“本で学ぶ” という方、
たくさんいらっしゃいますよね？

本とは

- 特定分野の知識を **体系的に学ぶ** のに最適なメディア
 - “**学ぶべき内容**” や “**学ぶ順番**” をばらばらに探さなくていい
 - “**情報の品質**” が最初から最後まで一定に保たれている
 - 誰かが苦労して学んだ知識を “**苦労せずに**” 手に入れられる
- **非同期（好きなとき）** に学べる
- 他の学習法と比べて学習の **時間効率** を最大化できる
- さっと渡せて最も情報量を詰め込めて **名刺代わり** になる

A cartoon character with large eyes and a wide smile is holding a large, light blue book. The character is wearing a yellow shirt and a white apron. The background is white with large, soft, pastel-colored shapes in shades of pink, orange, and teal.

知識の組み合わせ

あなたが長い時間をかけて **“学んだこと”** を
次に学ぶ人に向けて **“体系的に発信”** しよう

学ぶためのノウハウ

他アウトプットと比較

	本	ブログ	勉強会
体系的な学習	◎	○	△
情報量	◎	○	△
時間あたり学習効率	◎	○	△
情報の深さ/ニッチさ	○	◎	○
サンプルコードの実行	△	◎	△
情報の新鮮さ/更新の難易度	△	◎	◎
視覚的理解（デモなど）	△	○	◎
感情の伝達	△	△	◎

技術同人誌を書こう 1/2

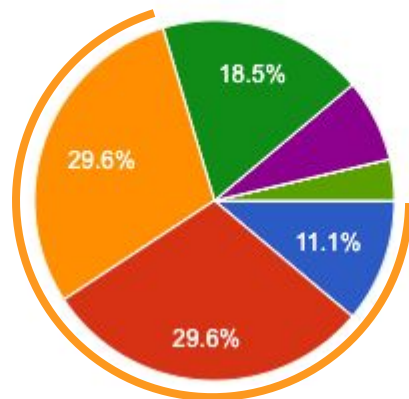
- 自分が **企画したものをそのまま世に出す** ことができる
 - 商業誌は“広く一般に受ける”ことが条件になる
 - 同人誌は“本当に自分が広めたい知識”を扱える
- **小さな執筆量** から始められる
 - 同人界隈の名言“書いたものを折れば本”
- より **濃いフィードバック** を得られる
 - 即売会に参加すると“買う人の顔や声”がわかる

技術同人誌を書こう 2/2

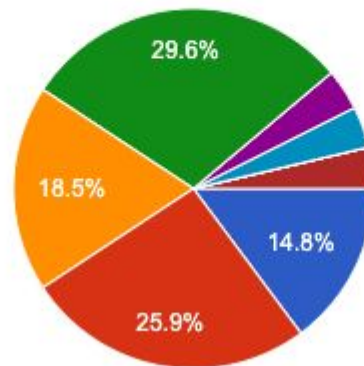
- 技術以外の **すべてのことを試行錯誤して学べる**
 - 🦵 技術を本としてまとめるための知識
 - 🤖 製本に関する知識（印刷・紙質・入稿・専門用語、など）
 - 😓 企画やプロモーションの知識
 - 😇 会計や税務処理、など
- 完成した **本の手触り** は最高！
 - 本の重み = 作った実感
 - **段ボールをあけたときのおい**が大好きな人がたくさんいます

どれくらい書く？

- 全体の7割が75ページ以下
- 1ページあたり1時間+α程度かかっている
- 紙に印刷して折れば本です



● ～25ページ
● ～50ページ
● ～75ページ
● ～100ページ
● ～150ページ
● ～200ページ
● ～250ページ
● ～300ページ
● 301ページ以上



● ～25時間
● ～50時間
● ～75時間
● ～100時間
● ～125時間
● ～150時間
● ～175時間
● ～200時間
● 201時間以上

技術同人誌作家が考える**執筆の醍醐味**

自分で作った本を、実際に手に取ったときの感触や重みが最高です 😊

本を作る喜びと楽しみ

マーケティングとか経理とかは、自分が普段業務では絶対にやらない経験を積めるのも面白い ✌️

学びを得る喜び

イベントで著者同士が繋がれて懇親会で美味しい物が食べれるなんて、これ本当に最高じゃん 🍷

仲間同士での交流

技術同人誌 = 企画から製造まで自分で決め
読者の顔や声を直接きける

アウトプットと私達

技書博が目指していく像

私たちのイベントは…

- 総参加者が数百人規模の小さなイベント
- 主役はサークルで“**本を出した体験**”ができる場所
- こんな人が多いはず
 - 売れても売れなくても数万円程度の損益で楽しもう
 - ブース同士で活発に交流しよう
 - 手に取った人からのフィードバックがほしい

技書博の理念

- 改めて技書博の理念は **アウトプットを増やすこと**
 - アウトプットを始める人を増やす
 - アウトプットを続ける人を増やす
- アウトプットによって豊かな社会の実現を目指す
 - アウトプットの質と量を向上させる
 - エンジニアが増える
 - 良いプロダクトやサービスが増える

技書博が気をつけていること

- テクノロジーニュートラルであること
 - すべての技術を等しく認め支える（IT以外も含め）
- アウトプットの垣根を作らないこと
 - 同人誌と商業誌を分け隔てなくつなげる
 - 技術書と他のアウトプット手段をつなげる
- 著者に寄り添い続けること
 - 企画はすべて著者のモチベーション向上を目指す
 - 執筆するための障壁を、周辺環境から崩していく

技術同人誌の未来をみんなで作ろう

- 技書博という **“場”** を技術書が生まれるきっかけにしよう
 - 技術書を **“書き始める”** 人を歓迎しよう
 - 技術書を **“書き続ける”** ために支え合おう
- コミュニティとエンジニアが相互に支え合おう
- これからもアウトプットしたくなるような環境を作ろう

あなたの“アウトプット”は
誰かにとっての“応援歌”になる

自分の活動に価値を感じる。
そんな人が絶対にいる。



イベントに申し込もう

- 第15回 技術書同人誌博覧会
 - 2027年5月15日（大田区産業プラザPiO）
 - 現在サークル参加＆一般参加者募集中です！
 - ぜひ**技書博公式Xのフォロー**お願いします



技術書同人誌博覧会

<https://gishohaku.dev>

参加サークル

1. 技術に関する**本（技術コンテンツ）を頒布**するサークル
2. **技術コミュニティ**の広報を行うサークル
3. **協賛企業**として広報を行うサークル
4. **出版関係者**が技術書の販売や広報を行うサークル

※**同人印刷関係者**を含みます

コミュニティ向け情報

- コミュニティフレンドシッププログラム
 - サークル参加費→無料
 - 公式ガイドブックに**カラー広告/技術記事**を**無料掲載**、など
- 適用条件
 - **技術者が対象**の**非営利コミュニティ**向け
 - **定期的**に活動している（もしくは今後活動する予定である）
 - **オープン**である（希望すれば一定条件のもと誰でも参加できる）

<https://blog.gishohaku.dev/entry/community-friendship>

学生向け情報

- 学生支援プログラム
 - サークル参加費→無料
- 適用条件
 - **学生が主体**で活動している
 - **非営利**の活動団体である

<https://blog.gishohaku.dev/entry/scholarship>

ご清聴ありがとうございました！